

○ 草の根パートナー型

パートナー型フォローアップ案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	パキスタン
2. 事業名	パキスタン・シンド州貧困農村地域における公衆衛生の実践、普及と定着支援事業
3. 事業の背景と必要性	本事業は、皮膚病、下痢、マラリア等の感染症の深刻な脅威にさらされている貧困農村地帯における事業である。事業地の住民は公衆衛生の知識が少ないため、病気から身を守ることができない。本提案事業の実施を通じて、正しい公衆衛生知識の普及と定着の仕組みがつけられることにより住民の健康状態が改善されることが望まれる。
4. プロジェクト目標	カンバルレシャハダコット県農村部の住民の間で正しい公衆衛生知識を普及できる仕組みをつくる。
5. 対象地域	シンド州カンバルレシャハダコット県カンバル郡及びクボサイドカーン郡
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	カンバル郡ゲビデロ区とその周辺住民約25,000人 クボサイドカーン郡バゴデロ区とその周辺住民約23,000人
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> カンバル郡とクボサイドカーン郡の56村の「村レベルの衛生普及員」が公衆衛生知識を住民に広範に普及し、住民が公衆衛生を実践できる。 村の母親層や子どもたちを中心に公衆衛生が実践され、知識の交流が頻繁に行われる。 カンバル郡とクボサイドカーン郡の54村に整備されたトイレを住民が正しく使用できる。 住民がトイレ等の衛生施設の管理の重要性を理解し、施設が良好に維持される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 「村レベルの衛生普及員」自らが主催する公衆衛生ワークショップの実施 住民による公衆衛生知識の実践とその知識交流 トイレの整備とその活用の推進 トイレ等の衛生施設の保守管理
8. 実施期間	2012年11月～2014年1月（1年3か月）
9. 事業費概算額	30,000千円
10. 事業の実施体制	日本人プロジェクトマネージャー1人（当機構理事）を現地に、調整員1人を国内に配置する。さらに当機構役員の専門分野毎にアドバイザーグループを設けて、技術面のバックアップ支援体制を構築する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人JADE-緊急開発支援機構
2. 活動内容	海外における国際協力活動と国内における国際開発教育